

登録コード	A3591372	開講年度	2026				
授業科目	プレゼンテーション演習					担当教員	細尾 佳宏
英文授業名	Presentation						
単位数	1	講義期間	後期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	3年生（研究室配属後の学生対象）
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】	
	2 0 2 2 Aカリ, 2 0 2 1 Aカリ, 2 0 2 0 Aカリ, 2 0 1 9 Aカリ						
	【2022年度以前加付対象】専門的な知識や研究能力を修得している					森林・環境共生学に関する専門的な知識や研究能力を修得している	
	【2022年度以前加付対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している					地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って森林・環境共生学に関する問題をとらえ解決する能力を修得している	
	2 0 2 6 A3 編（24A）, 2 0 2 5 A3 編（23A）, 2 0 2 4 Aカリ, 2 0 2 3 Aカリ						
	【2024年度以前加付対象】専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。					森林・環境共生学に関する専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。	
	【2024年度以前加付対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。					地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って森林・環境共生学に関する様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	本演習では、プレゼンテーションに必要なスライドや文書の作成方法について解説する。また、各研究分野において、上級生のプレゼンテーションを聴講するとともに、4年次における研究計画の発表につながる論文の紹介を行う。						
(5)授業計画	2～3週に1回、自分の研究テーマに関連する、もしくは興味ある文献を読むとともに、その内容に関連した事項についても文献に当たるなどして調査し、要約を作成して説明する。また、他の学生が発表する際には、その内容について質問しディスカッションする。なお、最終回の最後の15分で授業アンケートを実施する。						
(6)自主学習の指針	自主学習では参考書の使用を薦める。また、各回で配付される発表レジュメなども活用して自主学習に役立ててもらいたい。						
(7)成績評価の基準	出席および発表に関する条件を満たした上で、 1．文献の内容を専門知識に基づいて理解できる 2．説明するためのプレゼンテーションができる 3．質疑応答による議論ができる について、項目全てを満たしていれば「水準にある」とする。特に良く満たしていると考えられる項目が1つあれば「やや上にある」、2つでは「かなり上にある」、3つであれば「卓越している」とする。						
(8)事前事後学習の内容	事前学習：文献の精読，スライド等の資料作成，さらに発表練習が必要である。 事後学習：発表で指摘された事項、文献中で分からなかった事項については、他の文献や書籍等を用いて調べ、理解すること。						
(9)テストやレポートの予定	なし						
(10)成績評価の方法	演習への参加状況、自分の課せられた発表の実施状況と内容および他学生の発表時におけるディスカッション状況を総合的に評価する。総合得点が90点以上を秀、80-89点を優、70-79点を良、60-69点を可と評価する。						
(11)質問、相談への対応および連絡先	随時、受け付ける。 居室：B棟3階B309 E-mail: hosoo@shinshu-u.ac.jp						
(12)履修上の注意	対象学生：森林・環境共生学コース3年生。研究室配属後の履修になります。開講形式は研究室ごとに異なるので注意してください。						
【教科書】	特に指定しない。						
【参考書】	これから学会発表する若者のために -ポスターと口頭のプレゼン技術-（酒井聡樹著、共立出版） 学生・研究者のための伝わる！学会ポスターのデザイン術（宮野公樹著、化学同人）						